

# 熱演に沸いた

## 演芸大会

入場者も  
1200人超す



川添都さんら（岡豊町）の愉快的な寸劇、みそすり小坊主

郷土芸能を通して市民の交流を深め、収益金を福祉活動に役立てようと、南国市演芸大会が十月十三日、市民体育館で開かれ約千二百人の観客が歌や踊りを楽しみました。

この演芸大会は、市社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人

クラブ連合会の主催で今年が五回目。最近恒例行事としてすっかり市民に定着し、午前九時の開門には観客が長い列を作るほどにぎわい。

舞台では、市内各地区からの出演者約百三十人が、民謡や踊り、寸劇、マジック、大正琴など多彩な出し物を熱演。なかなか練習を積んだらしく素人とは思えない方もおり、「おひねり」も飛び交うな

ユーモア賞、踊り・おてもやん、

現在会員は五十人余り。詳しいことは同会事務局（市教育委員会社会教育課 ☎ 2111 内線 314）まで、お問い合わせください。

ど観客の盛んな拍手を受けていました。

なお、各賞の受賞者は次のとおりです（敬称略）

優秀賞：踊り・よさこいかもめ 北村のぶほか九人（日章）  
熱演賞：踊り・妻恋道中 村田見佐子ほか一人（十市）  
アイデア賞：マジック 清岡弘子（長岡）

佐竹一美ほか一人（岩村）  
特別賞：劇・牛踊り 竹内つやほか五人（岡豊町）  
▼大正琴・高原列車は行くほか二曲 井上正彦ほか九人（岡豊町）  
▼民謡・お立ち酒 片岡好晴（土佐清風園）  
模範演技賞：歌謡吟詠・静御前 徳橋昭俊（久礼田）  
▼踊り・深川 中沢八重子ほか一人（大徳）

## 文化財講座が好評

### 新しく（南 国）も発足

ふるさとの歴史を学びませんか  
——と、九月から市教育委員会主催の「文化財講座」が始まっています。聴講者は、毎回百人近くとても好評。

十月十七日は、その第二回めの

この講座は、来年三月まで毎月一回の予定で開かれます。

なお、この日の講演の後、南国市を中心とする歴史、地理、伝説、民謡等を研究発表することを目的に「南国史談会」が発足しました。



この日は約90人が熱心に聴講した